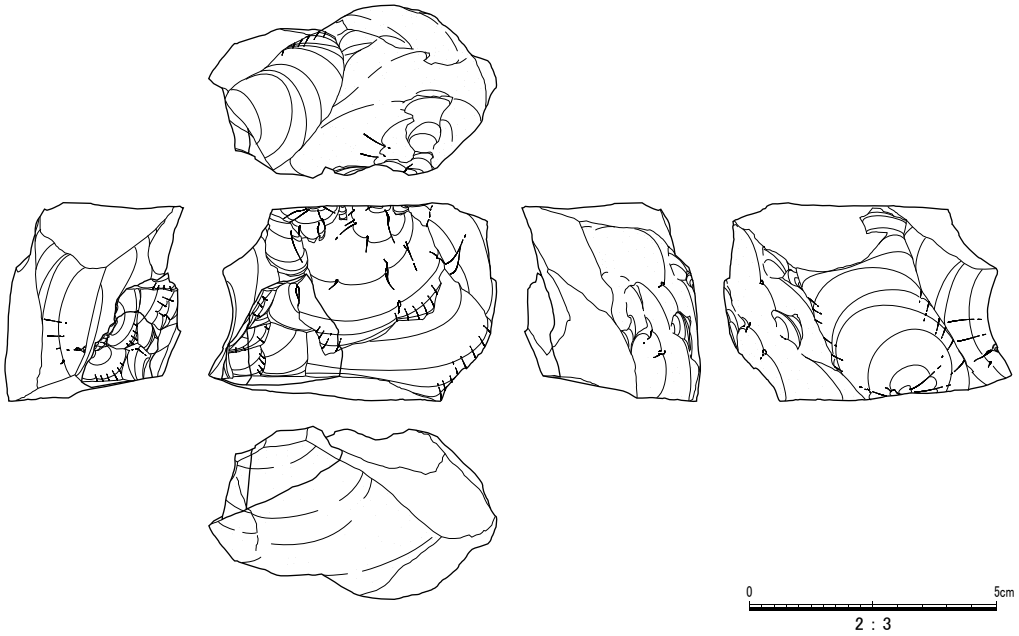
三芳町埋蔵文化財報告 43

新開第二遺跡第２地点
発掘調査報告書



ブロック３出土接合資料（S=2/3）

２０１９．３

埼玉県入間郡三芳町教育委員会

はじめに

三芳町は、都心から僅か 30km の位置にありながら、武蔵野の面影を偲ばせる雑木林が随所に広がる、緑豊かな町です。また、埼玉県指定旧跡「三富開拓地割遺跡」や埼玉県指定有形民俗文化財「竹間沢車人形の道具」などをはじめ、数多くの文化財を伝え残しています。

昭和 40 年代までは、畑作中心の純農村地帯として緩やかに発展してきましたが、その後の高度成長期から、住宅開発や工場・倉庫などの進出によりその姿は急速な変貌を遂げてきました。

このような都市化の進展や経済的な発展に伴い、緑地や文化財が失われつつあります。このため、三芳町教育委員会としては、文化財保護を教育行政の重点施策に位置づけて、先人たちが培ってきた様々な文化や歴史を、将来への発展の礎となる貴重な遺産として保護し、伝え残していく努力を続けています。とりわけ、町内に残された 33 箇所の遺跡すなわち埋蔵文化財は、先人たちの営みを知り得る大切な文化財として、関係者のご理解とご協力を賜りながら記録保存のための発掘調査を実施してまいりました。

本書で報告する「新開第二遺跡第 2 地点」の発掘調査では、旧石器時代の人々が生活した痕跡が集中して発見されました。

古くは約 25,000 年もの昔にさかのぼる暮らしの一端を収録した本書が、考古学研究の基礎資料となるとともに、地域における埋蔵文化財への理解と関心を深め、郷土の歴史・文化遺産を伝え残しつつ三芳町がより一層の発展を遂げていくための一助となることを願ってやみません。

最後になりましたが、発掘調査にあたり多大なるご理解とご協力を賜りました、株式会社丸大をはじめとする関係各位に厚く御礼申し上げます。

三芳町教育委員会
教育長　古川慶子

例　言

1．本書は、埼玉県入間郡三芳町大字竹間沢字新開 337-1 に所在する新開第二遺跡第 2 地点（県遺跡番号 32-017）の発掘調査報告書である。
2．発掘調査は食品工場建設及び駐車場造成に伴って実施され、発掘調査・整理作業・報告書刊行は、株式会社丸大から三芳町教育委員会が委託を受け実施した。
3．発掘調査・整理作業・報告書刊行にかかる事業経費総額 1,200,000 円は株式会社丸大が負担した。
4．調査組織は下記のとおりである。

調査主体者	三芳町教育委員会	教育長	古川慶子
調査事務局	文化財保護課	課　長	柳井章宏（主幹兼務）
	文化財保護担当	主　査	荻野恵子
	同	学芸員（主査）	中村　愛
	同	学芸員（主事）	岡野賢人
調査担当	同	主　幹	柳井章宏
	同	学芸員（主査）	越前谷理

5．発掘調査は平成 30 年 10 月 29 日～ 12 月 11 日に実施し、整理作業及び報告書編集作業は平成 30 年 12 月 3 日～平成 31 年 2 月 15 日に実施した。
6．出土遺物及び遺構図面類は、三芳町教育委員会が保管する。
7．遺構写真撮影、本書の執筆・編集、挿図・図版作成は越前谷理が行った。報告書に掲載する土層断面図のデジタルトレース、遺物実測図作成及び遺物写真撮影は（株）東京航業研究所に業務委託を行った。
8．本書に掲載した図版等の凡例は、それぞれの図で示した。
9．本書で使用した図面の方位は全て座標北であり、測量は世界測地系に基づいている。
10. 本書に掲載した地図は、国土地理院発行の電子地形図 1/25,000 及び三芳町発行の地形図 1/2,500 である。
11. 発掘現場での遺構・遺物の記録、整理作業での図版作成は、（株）CUBIC 社製「遺構くん Cubic」を使用した。
12. 本書の作成・編集には、主に Adobe 社製 Illustrator CS5、Photoshop CS5、InDesign CS5、Acrobat 9 を使用した。
13. 発掘調査及び出土資料の整理・報告にあたり、下記の諸氏・関係機関にご教授・ご指導を賜った。記して感謝の意を表したい。（順不同、敬称略）
大久保淳、岡崎裕子、加藤秀之、隈本健介、佐藤一也、高崎直成、谷本喬、坪田幹男、鍋島直久、早坂廣人、藤波啓容、堀善之、松本富雄、和田晋治
埼玉県生涯学習文化財課、ふじみ野市教育委員会、富士見市教育委員会、（株）CUBIC、（株）東京航業研究所
14. 発掘調査ならびに整理作業従事者は下記のとおりである。（敬称略）
金子恵子、久保田富美江、佐藤洋子、田中香代子、田村早苗、奈良部大樹、西江由里子、野上吉樹、深谷和江、堀田敦子、黛佳代子、四方田真由美

目　次

はじめに
例言
目次・挿図目次・表目次・写真図版目次
Ⅰ．新開第二遺跡の位置と環境…… 3
Ⅱ．新開第二遺跡第 2 地点の調査…… 5
　1．遺跡の立地と概要…… 5
　2．調査の経緯…… 5
　3．遺構と遺物…… 5

挿図目次

第 1 図　周辺の地形と遺跡（1/25,000）…… 4
第 2 図　調査位置図（1/4,000）…… 5
第 3 図　調査区全体図（1/1,000）…… 5
第 4 図　発掘調査成果図（1/200）…… 6
第 5 図　ブロック 1　遺物分布図及び土層断面図（1/60）・出土石器（2/3）‥ 6
第 6 図　ブロック 2　遺物分布図及び土層断面図（1/60）…… 7
第 7 図　ブロック 3　器種別分布図及び土層断面図（1/60）…… 8
第 8 図　ブロック 3　石材別分布図及び土層断面図（1/60）…… 8
第 9 図　ブロック 3　出土石器（2/3）…… 9

表目次

第 1 表　石器・礫属性表①　……10
第 2 表　石器・礫属性表②　……11

写真図版目次

写真図版 1
　調査前全景
　重機による表土剥ぎ
　調査風景
　完掘状況（南から）
　ブロック 1　遺物出土状況（北東から）
　ブロック 1　焼石片
　ブロック 2　遺物出土状況（南西から）
　ブロック 2　焼石片
写真図版 2
　ブロック 3　遺物出土状況（南西から）
　ブロック 3　石核
　重機による埋め戻し
　整理作業風景
　ブロック 1 及びブロック 3　出土石器

Ⅰ．新開第二遺跡の位置と環境

三芳町は、埼玉県南西部の荒川右岸台地上に位置し、西方には富士山と秩父、多摩の山並みを遠望する平野地帯である。地形としては、西方約 50km 先の青梅市付近を扇頂として広がる武蔵野台地の北東部にあたり、関東ローム層の厚く堆積した台地は、特に町の西部域は現在流れる河川も雨水排水用の掘割となった砂川堀のみであり、平坦な地形が広がっている。近年の発掘調査により西部域に数条の埋没谷が存在し、その周辺において旧石器時代から縄文時代早期の遺跡の存在が明らかになりつつあるが、谷の埋没以降、西部域の集落形成は江戸時代の新田開発が行われるまで待たねばならなかった。一方、町の東部域は、より武蔵野台地の縁辺に近く、柳瀬川をはじめとする荒川の沖積面に向かう数条の河川や開析谷が台地を切り込むように存在している。東部域にはこれらの河川に沿って、旧石器時代の遺跡のみならず原始・古代の遺跡も数多く確認されている。

新開第二遺跡は町の東部域に位置し、通称「唐沢堀」と呼ばれる掘割が流れる谷の崖線上に広がる。この谷は川越街道付近に谷頭をもち、比高差約５ｍの緩傾斜で大字竹間沢と大字藤久保の間を開析し、富士見市関沢字八ヶ上付近で富士見江川の流れに合流する。かつては谷頭付近に湧水があったといわれているが、現在は工場などの建設によって埋め立てられて確認することはできない。この流路の右岸に今回の発掘調査を実施した新開第二遺跡（**24**）が位置する。やや下流には新開遺跡（**25**）が存在し、旧石器時代立川ローム層第Ⅲ層及び第Ⅳ層から石器集中や礫群が、また、平安時代の須恵器窯跡３基・土器焼成土坑６基・工房跡３軒など須恵器生産に関する遺構も発見されている。その下流には縄文時代中期の集落跡である松ノ木遺跡（**26**）が、対岸には旧石器時代の三芳唐沢遺跡（**22**）が存在する。

唐沢の流れが合流する富士見江川は、大字藤久保字東の川越街道付近に谷頭をもち、東方の沖積地（荒川低地）に延びている。谷頭付近から下流に向かっては、藤久保東遺跡（**14**）・藤久保東第二遺跡（**15**）・藤久保東第三遺跡（**16**）・俣埜遺跡（**17**）が両岸に連綿と存在し、いずれも旧石器時代を中心とした遺構・遺物が確認されている。このうち藤久保東遺跡では、旧石器時代立川ローム層第Ｘ層から第Ⅲ層にかけて 100 箇所以上の石器集中と 80 箇所以上の礫群、第Ｘａ層の局部磨製石斧２点をはじめとした 10,000 点以上の石器や礫が発見されている。また、俣埜遺跡からは、旧石器時代以外にも縄文時代中期の住居跡や奈良時代の製鉄作業場跡、新開遺跡・新開第二遺跡の窯業と同時期と考えられる平安時代の工房跡などが発見されている。

南に目を転じると、三芳町と対岸の新座市・志木市の間には、多摩川の名残川といわれる柳瀬川が流れる。柳瀬川を望む崖線上には数多くの遺跡が存在し、特に左岸に位置する三芳町から富士見市にかけては、古井戸山遺跡（**38**）・本村南遺跡（**39**）・本村北遺跡（**40**）・北側遺跡（**41**）・南通遺跡（**42**）・北通遺跡（**43**）・栗谷ツ遺跡（**44**）・別所遺跡（**45**）と遺跡が連綿と存在する。時期としては、旧石器時代、縄文時代早期～中期、弥生時代中期～後期、古墳時代後期、奈良・平安時代、中世まで連綿と幅広く確認されている。このうち古井戸山遺跡では、これまでに８地点の調査が行われ、旧石器時代の石器集中４箇所、縄文時代前期の住居跡２軒、縄文時代の集石６基、弥生時代の住居跡７軒などが発見されている。また、富士見市の栗谷ツ遺跡では、旧石器時代の石器、縄文時代の住居跡、弥生時代後期～古墳時代初頭の住居跡のほか、平安時代の住居跡が 40 軒以上と須恵器窯跡１基が発見されている。

※国土地理院の電子地形図（1/25,000）に遺跡の位置及び番号を追記して掲載

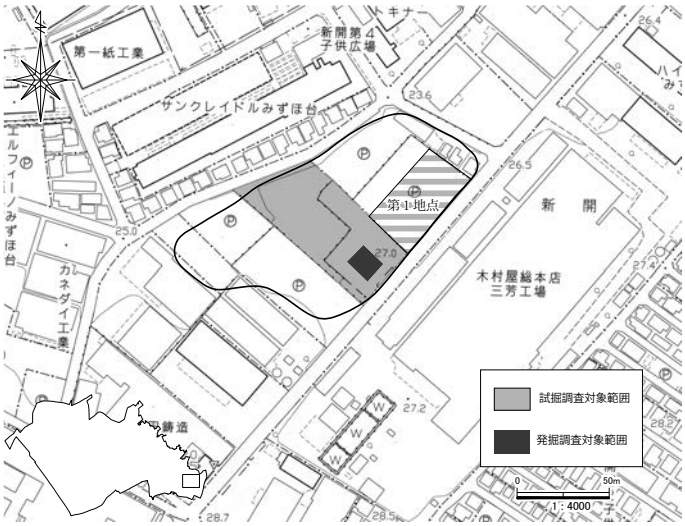
1. 西台遺跡　2. 大井戸上遺跡　3. 東台遺跡　4. 浅間後遺跡　5. 権平沢遺跡　6. 谷津遺跡　7. 御庵遺跡　8. 新田遺跡　9. 八ヶ上遺跡　10. 打越遺跡　11. 山崎遺跡　12. 松山遺跡　13. 氷川前遺跡　14. 藤久保東遺跡　15. 藤久保東第二遺跡　16. 藤久保東第三遺跡　17. 俣埜遺跡　18. 本目遺跡　19. 節沢遺跡　20. 南新埜遺跡　21. 藤久保南遺跡　22. 三芳唐沢遺跡　23. 関沢遺跡　**24. 新開第二遺跡**　25. 新開遺跡　26. 松ノ木遺跡　27. 北原遺跡　28. 北原第二遺跡　29. 通西遺跡　30. 生出窪北遺跡　31. 生出窪遺跡　32. 生出窪南遺跡　33. 新座 No.2 遺跡　34. 西上遺跡　35. 新座 No.42 遺跡　36. 新座 No.3 遺跡　37. 新座 No.41 遺跡　38. 古井戸山遺跡　39. 本村南遺跡　40. 本村北遺跡　41. 北側遺跡　42. 南通遺跡　43. 北通遺跡　44. 栗谷ツ遺跡　45. 別所遺跡　46. 東原遺跡　47. 城遺跡　48. 谷戸遺跡　49. 甲館出遺跡　50. 下宿内山遺跡　51. 大和田カミ遺跡　52. 新座 No.44 遺跡　53. 新座 No.48 遺跡　54. 新開遺跡　55. 新座 No.46 遺跡

第 1 図　周辺の地形と遺跡（1/25,000）

Ⅱ．新開第二遺跡第２地点の調査

１．遺跡の立地と概要

新開第二遺跡は、唐沢堀の上流部の右岸台地縁辺部に広がる遺跡である。これまでに第１地点の調査が行われており、旧石器時代の礫群４箇所及び平安時代の土器（須恵器）焼成土坑１基が確認されている。今回の第２地点は、第１地点の西側にあたり、埼玉県入間郡三芳町竹間沢 337-1 に位置する。



第２図　調査位置図（1/4,000）

２．調査の経緯

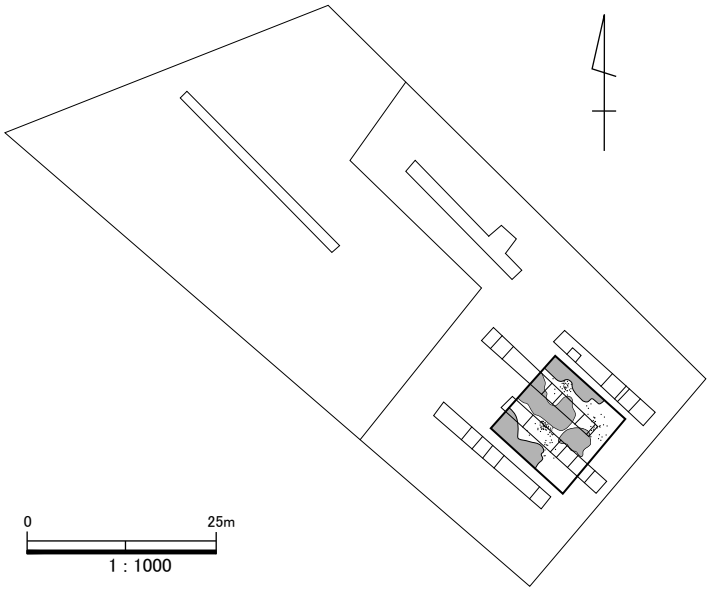
三芳町教育委員会では、食品工場建設及び駐車場造成に先立つ遺跡の範囲及び性格・内容の把握のため、当該箇所 3,333 ㎡について平成 30 年 8 月 28 日～ 10 月 19 日に試掘調査を実施した。調査の結果、旧石器時代の石器及び礫の集中が確認されたため開発者と協議を行ったところ、開発は避けられないとの結論に達し、遺構が確認された 195 ㎡について、記録保存のための発掘調査を実施することとなった。

三芳町教育委員会では、文化財保護法に基づき平成 30 年 10 月 26 日付け三芳教文発第 167 号で発掘調査通知を埼玉県教育委員会へ提出し、同年 10 月 29 日～ 12 月 11 日に発掘調査を実施した。今回の調査地点は、周知の埋蔵文化財包蔵地（県遺跡番号 32-017）の中央部に位置する（第２図）。

３．遺構と遺物

第２地点の発掘調査では、試掘調査において遺構や遺物が確認された周囲を拡張し、遺構の全容把握に努めた。その結果、旧石器時代立川ローム層第Ⅲ層上部で２箇所のブロックが、第Ⅳ層下部～第Ⅴ層で１箇所のブロックが確認された（第４図）。出土した遺物は、旧石器時代の石器 37 点・礫 97 点のほか、遺構に伴わない縄文時代の土器小片８点であった。

なお、当該調査地点は、過去の建物建設の際に大きく掘削されており、その深さは立川ローム層まで及んでいた。確認された遺構のうち、ブロック１及びブロック２は確認面の直上まで撹乱がおよび、ブロック３については、遺物の広がりが予測された北東側は撹乱によって消失している。



第３図　調査区全体図（1/1,000）

【遺構】

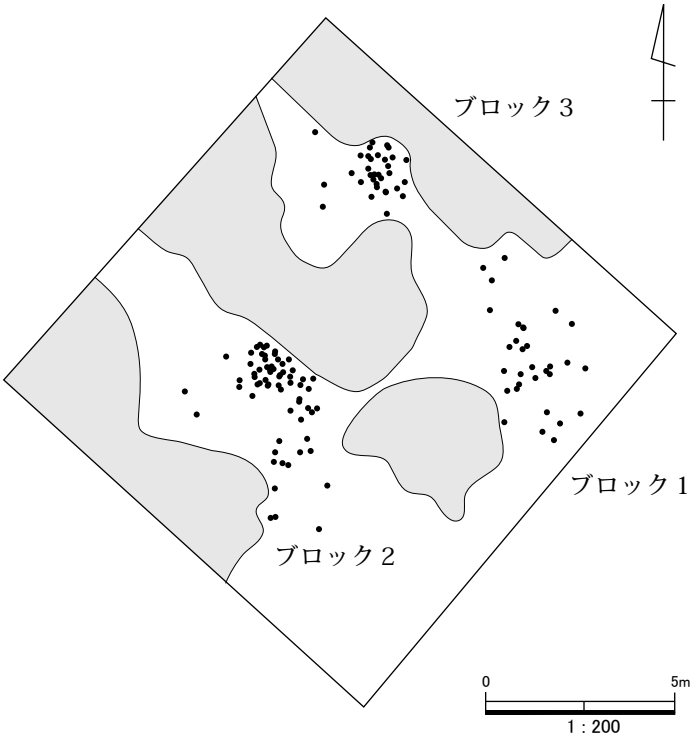
ブロック１（第５図）

調査区北東部で確認され、立川ローム層第Ⅲ層上部に分布する。東西 4.9 m ×

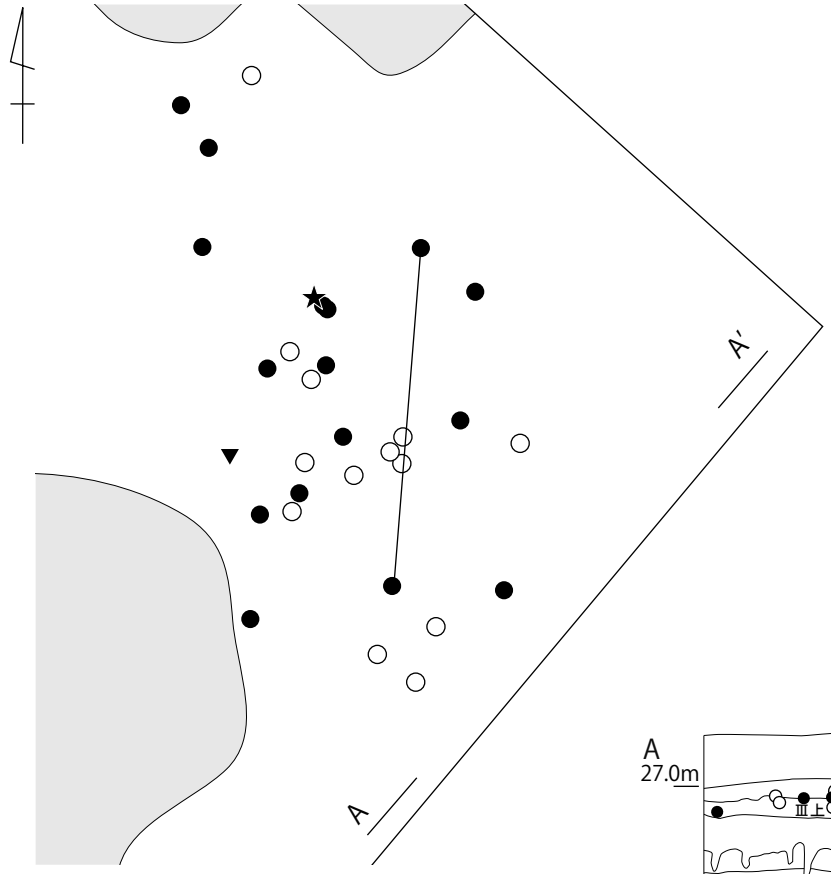
南北 2.7 mの範囲に中央に特に密集する状態で、石器 2 点・礫 29 点が広がる。石器の器種構成は、ナイフ形石器 1 点（頁岩製　第 5 図 1 ）・二次加工のある剥片 1 点（頁岩製）である。礫は 29 点すべてが破砕礫であった。また、赤化しているものが 7 点でそのすべてが破砕面も赤化している。重量は 0.05 g ～ 161.48 g とばらつきがある。礫の石材は、チャート 16 点・砂岩 13 点であった。接合関係はブロック内で礫の接合が 1 個体確認された。

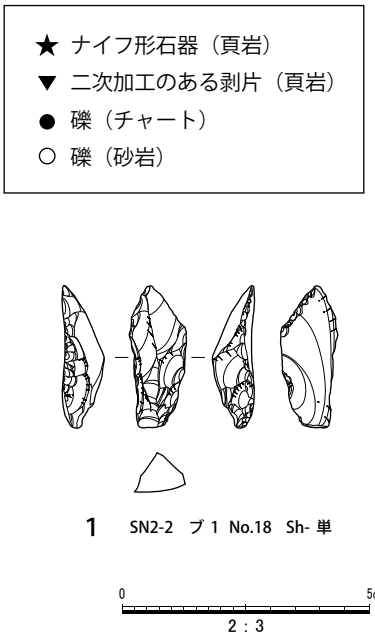
ブロック 2（第 6 図）

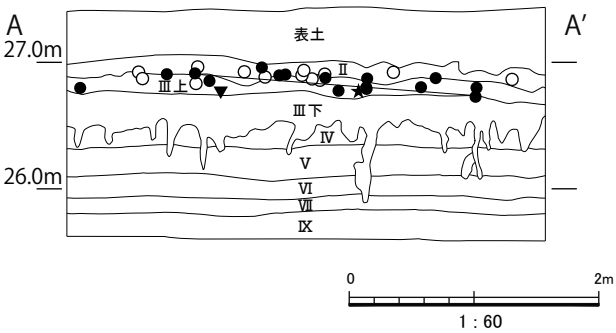
調査区中央西寄りで確認され、立川ローム層第Ⅲ層上部に分布する。東西 4.9 m ×南北 4.0 mの範囲に一部に密集する状態で、石器 2 点・礫 64 点が広がる。石



第 4 図　発掘調査成果図（1/200）







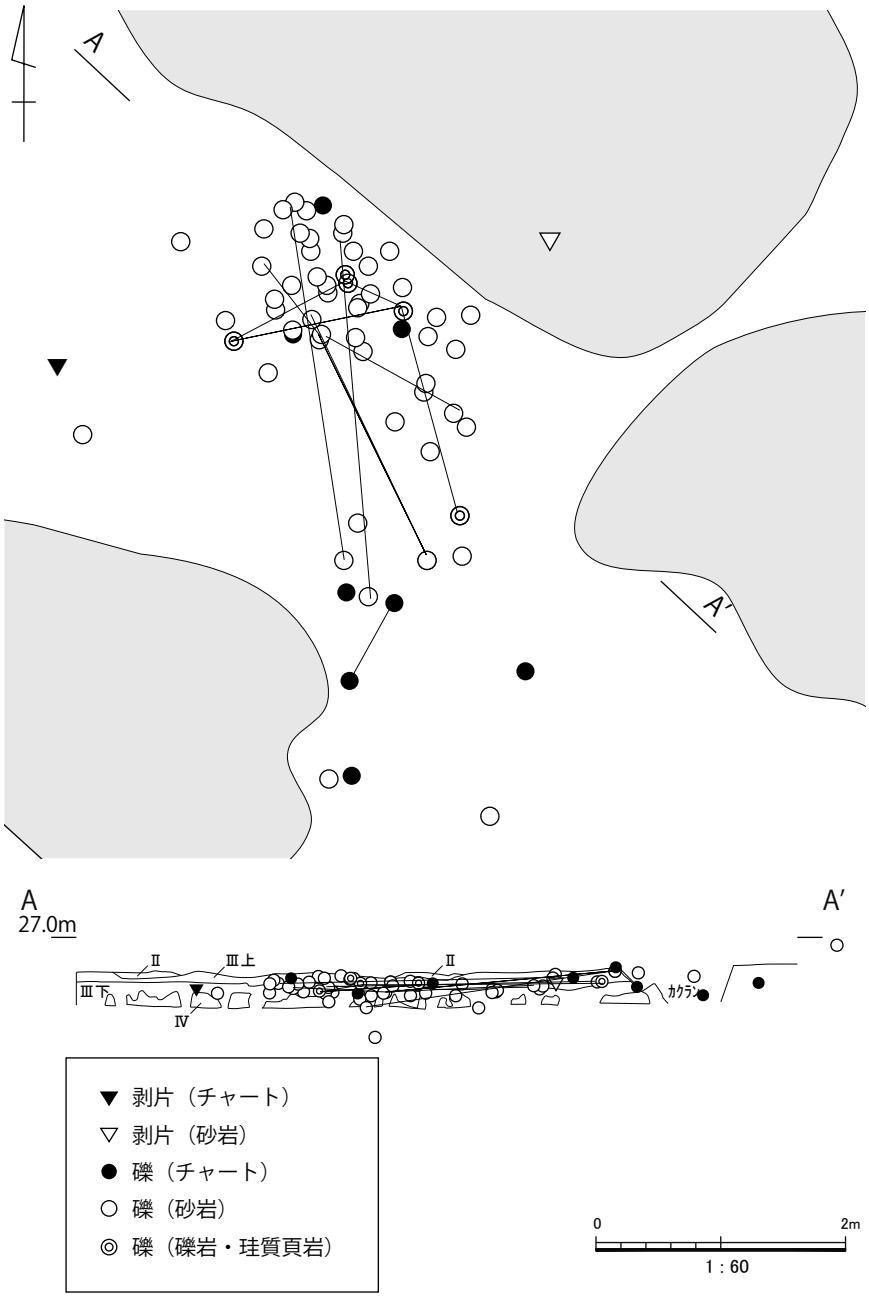
第 5 図～第 8 図 土層断面図共通
第Ⅲ層上部　黒褐色土を主とするソフトローム層
　　ロームブロックを多く含む
第Ⅲ層下部　褐色土を主とするソフトローム層
　　赤色スコリア粒子を多く含む

第 5 図　ブロック 1　遺物分布図及び土層断面図（1/60）・出土石器（2/3）

器の器種構成は、剥片２点（チャート製及び砂岩製）である。礫は 64 点すべてが破砕礫であった。また、赤化しているものが 57 点でそのすべてが破砕面も赤化している。重量は 0.06 g ～ 140.72 g とばらつきがある。礫の石材は、砂岩 51 点・チャート８点・礫岩４点・珪質頁岩１点であった。接合関係はブロック内で礫の接合が５個体確認された。

ブロック３（第７図・第８図）

調査区北部で確認され、立川ローム層第Ⅳ層下部～第Ⅴ層に分布する。東西 2.2 m×南北 2.5 mの範囲に一部に密集する状態で、石器 30 点・礫２点が広がる。石器の器種構成は、ナイフ形石器１点（頁岩製　第９図１）・石核１点（頁岩製　第９図３）・剥片 28 点（ガラス質安山岩１種５点・頁岩３種 16 点・凝灰岩２種４点・チャート２種３点）である。接合関係はブロック内で石器の接合が１個体確認された。



第６図　ブロック２　遺物分布図及び土層断面図（1/60）

【遺物】

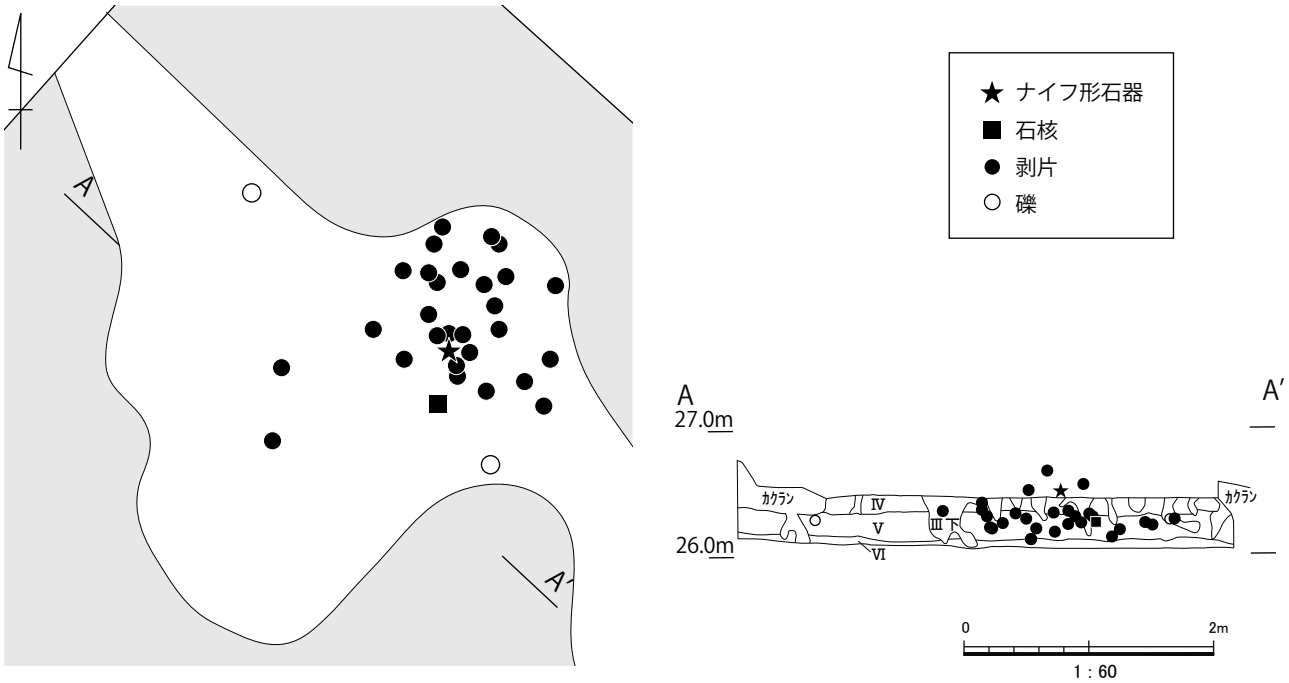
ナイフ形石器（第５図１）　ブロック１出土。頁岩製。不定形剥片を素材とする二側縁加工のナイフ形石器である。右側縁部に刃部が認められる。左側縁にほぼ連続的な二次加工を、右側縁には不規則な二次加工を施す。

ナイフ形石器（第９図１）　ブロック３出土。頁岩製。鋭い尖端部を有する小型のナイフ形石器である。左側縁は節理面のままとし、右側縁に不規則な二次加工を施す。

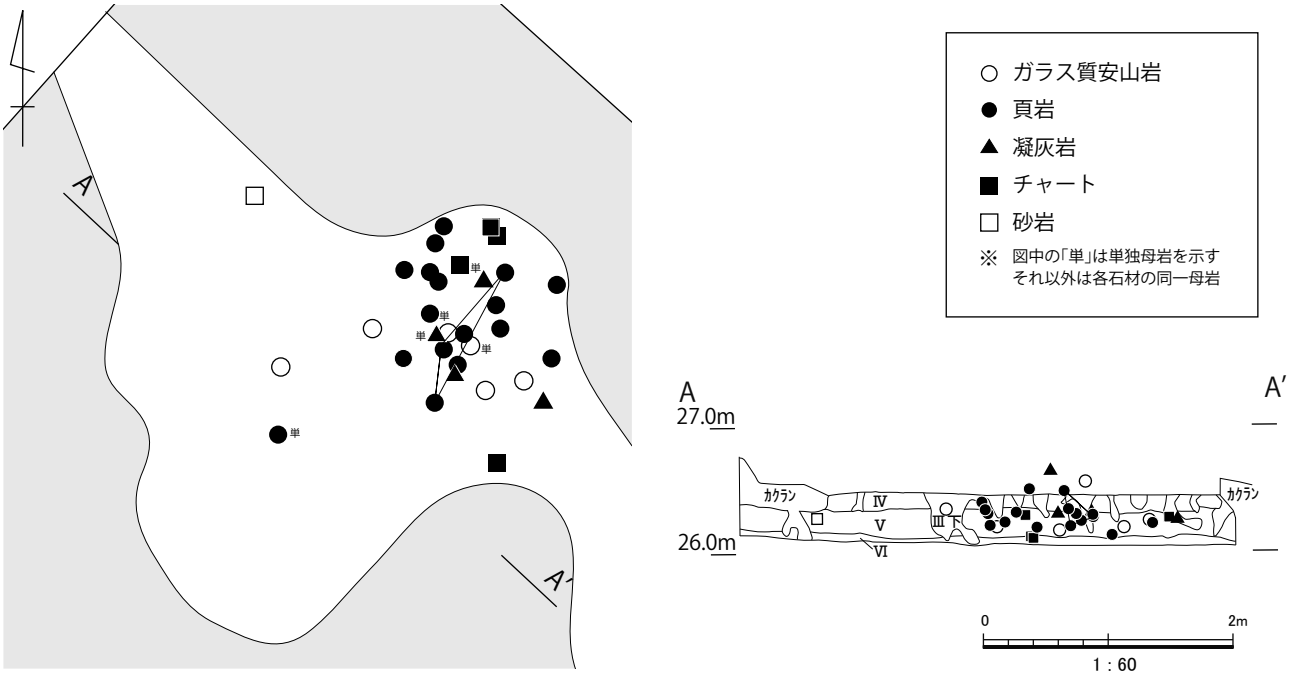
剥片（第９図２）　ブロック３出土。頁岩製。ナイフ形石器の調整剥片である。

ナイフ形石器（第９図１＋２）　ブロック３出土。頁岩製。調整剥片剥離前のナイフ形石器である。尖端の右側縁に再調整を施す。

石核（第９図３）　ブロック３出土。頁岩製。節理面を打面とした両設打面石核である。上下か



第７図　ブロック３　器種別分布図及び土層断面図（1/60）

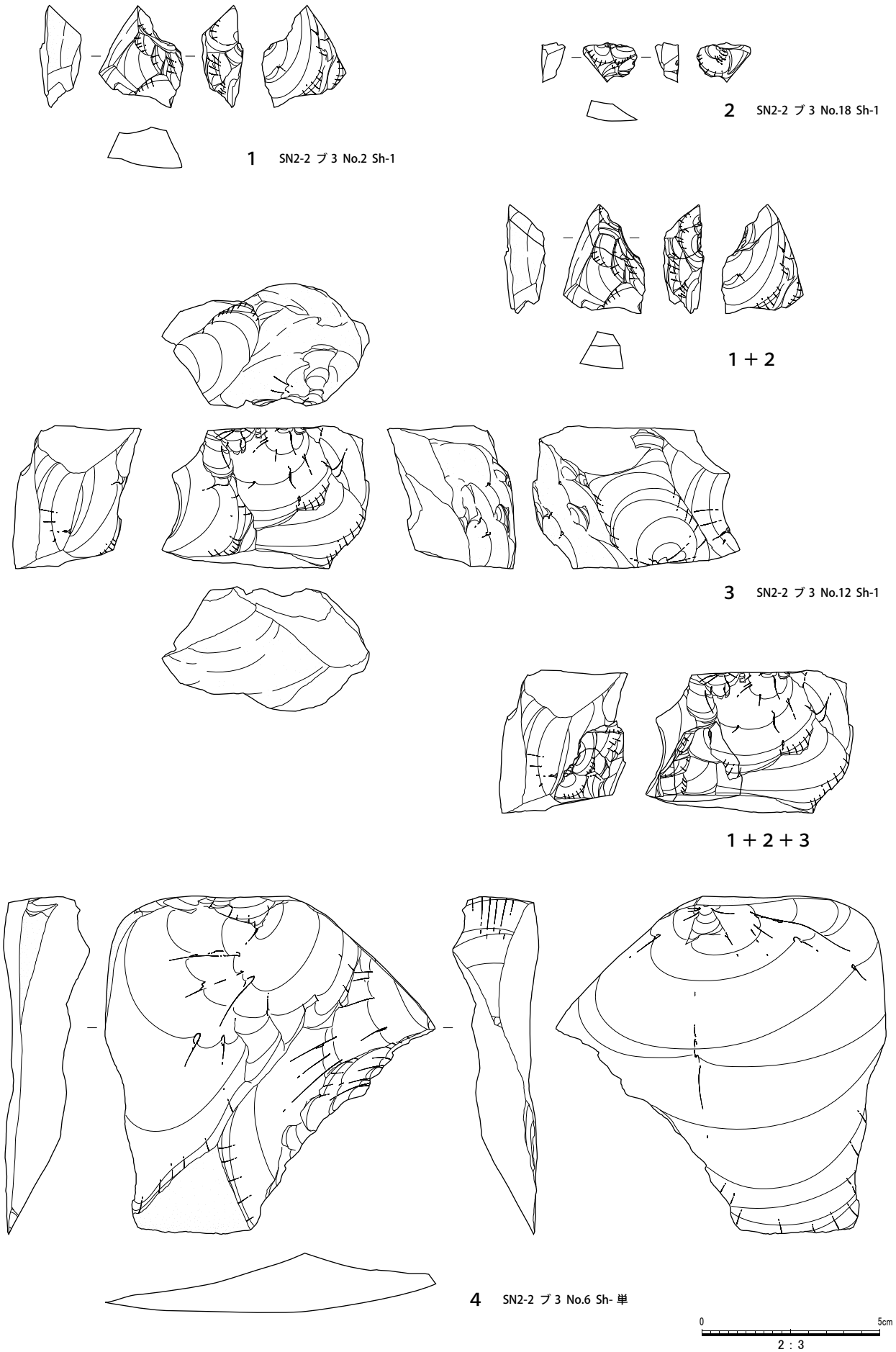


第８図　ブロック３　石材別分布図及び土層断面図（1/60）

らの剥離面とそれに直交する剥離面が認められる。剥離面はいずれもやや幅広で寸詰まりである。

接合資料（表紙及び第９図１＋２＋３）　ブロック３出土。頁岩製。石核の打面転移（90°ないし180°）に作出された不定形剥片（ナイフ形石器）及びナイフ形石器の調整剥片が接合する。

剥片（第９図４）　ブロック３出土。頁岩製。自然面を打面とする大型の不定形剥片である。



第９図　ブロック３　出土石器（2/3）

遺構名	遺物No.	種別	石材(母岩)	石器：長(mm) 礫：赤化	幅(mm) 破砕	厚(mm) 破砕面赤化	重量(g)	X座標	Y座標	Z座標	接合No.	図版No.	備考
ﾌﾞﾛｯｸ1	0001	礫	ﾁｬｰﾄ	○	○	○	1.25	-18969.396	-26432.324	26.864			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0002	礫	ﾁｬｰﾄ	×	○	×	0.81	-18969.724	-26432.099	26.804			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0003	礫	砂岩	×	○	×	2.50	-18969.127	-26431.759	26.865			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0004	礫	ﾁｬｰﾄ	×	○	×	0.07	-18970.967	-26431.264	26.795			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0005	礫	ﾁｬｰﾄ	×	○	×	0.13	-18970.87	-26429.986	26.793			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0006	礫	ﾁｬｰﾄ	×	○	×	15.01	-18971.892	-26430.102	26.865			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0007	礫	砂岩	○	○	○	14.94	-18972.055	-26429.627	26.931			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0008	礫	砂岩	○	○	○	3.08	-18971.998	-26430.56	26.912			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0009	礫	砂岩	×	○	×	108.42	-18972.208	-26430.565	26.935			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0010	礫	ﾁｬｰﾄ	×	○	×	35.87	-18973.244	-26429.752	26.952			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0011	礫	ﾁｬｰﾄ	×	○	×	42.70	-18973.208	-26430.645	26.906	ﾚ2		
ﾌﾞﾛｯｸ1	0012	礫	砂岩	○	○	○	0.28	-18973.507	-26430.293	26.969			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0013	礫	砂岩	×	○	×	1.66	-18973.729	-26430.762	26.928			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0014	礫	砂岩	○	○	○	3.74	-18973.943	-26430.453	26.877			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0015	礫	ﾁｬｰﾄ	×	○	×	0.57	-18973.468	-26431.765	26.792			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0016	礫	ﾁｬｰﾄ	×	○	×	3.54	-18970.981	-26431.257	26.785			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0017	礫	ﾁｬｰﾄ	×	○	×	13.94	-18970.516	-26432.15	26.77			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0018	ﾅｲﾌ形石器	頁岩単	28.75	11.54	9.28	1.61	-18970.88	-26431.396	26.753		第5図1	
ﾌﾞﾛｯｸ1	0019	礫	ﾁｬｰﾄ	×	○	×	0.26	-18970.531	-26430.411	26.721	ﾚ2		
ﾌﾞﾛｯｸ1	0020	礫	ﾁｬｰﾄ	×	○	×	9.12	-18971.482	-26431.63	26.899			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0021	礫	砂岩	×	○	×	2.05	-18971.323	-26431.452	26.897			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0022	礫	砂岩	×	○	×	0.18	-18971.544	-26431.281	26.874			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0023	礫	ﾁｬｰﾄ	×	○	×	1.23	-18971.456	-26431.167	26.866			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0024	礫	ﾁｬｰﾄ	×	○	×	0.97	-18972.022	-26431.032	26.89			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0025	礫	砂岩	○	○	○	161.48	-18972.119	-26430.661	26.917			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0026	礫	砂岩	×	○	×	0.56	-18972.3	-26430.948	26.887			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0027	礫	砂岩	×	○	×	13.88	-18972.197	-26431.332	26.924			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0028	礫	ﾁｬｰﾄ	×	○	×	0.05	-18972.468	-26431.376	26.847			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0029	礫	砂岩	○	○	○	6.33	-18972.595	-26431.44	26.836			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0030	礫	ﾁｬｰﾄ	×	○	×	3.72	-18972.64	-26431.696	26.904			
ﾌﾞﾛｯｸ1	0031	二次加工のある剥片	頁岩単	47.89	46.87	14.40	20.55	-18972.115	-26431.772	26.805			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0001	礫	ﾁｬｰﾄ	○	○	○	13.97	-18974.604	-26437.477	26.788	ﾚ5		
ﾌﾞﾛｯｸ2	0002	礫	砂岩	○	○	○	16.95	-18974.555	-26437.636	26.672	ﾚ4		
ﾌﾞﾛｯｸ2	0003	礫	ﾁｬｰﾄ	○	○	○	33.58	-18974.527	-26437.866	26.702			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0004	礫	砂岩	○	○	○	12.48	-18974.265	-26437.827	26.728	ﾚ3		
ﾌﾞﾛｯｸ2	0005	礫	砂岩	○	○	○	7.11	-18973.971	-26437.716	26.609			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0006-1	礫	砂岩	○	○	○	5.44	-18974.264	-26437.167	26.756	ﾚ6		
ﾌﾞﾛｯｸ2	0006-2	礫	砂岩	○	○	○	0.59	-18974.264	-26437.167	26.756			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0007	礫	砂岩	○	○	○	9.46	-18974.236	-26436.89	26.742			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0008	礫	礫岩	○	○	○	0.39	-18973.909	-26436.983	26.673	ﾚ1		
ﾌﾞﾛｯｸ2	0009	礫	砂岩	○	○	○	0.92	-18973.404	-26437.148	26.642			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0010	礫	砂岩	○	○	○	0.06	-18973.209	-26436.857	26.698			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0011	礫	砂岩	○	○	○	1.91	-18973.101	-26436.96	26.637	ﾚ6		
ﾌﾞﾛｯｸ2	0012	礫	砂岩	×	○	×	1.21	-18972.925	-26437.197	26.588			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0013	礫	砂岩	○	○	○	6.01	-18972.862	-26437.184	26.607			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0014	礫	砂岩	○	○	○	1.52	-18973.173	-26437.424	26.605			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0015	礫	砂岩	○	○	○	1.28	-18972.609	-26437.675	26.576			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0016	礫	砂岩	○	○	○	6.12	-18972.499	-26437.733	26.555			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0017	礫	砂岩	○	○	○	11.62	-18972.514	-26438.023	26.576	ﾚ6		
ﾌﾞﾛｯｸ2	0018	礫	砂岩	○	○	○	4.12	-18972.476	-26438.008	26.576			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0019	礫	砂岩	○	○	○	14.32	-18972.142	-26437.952	26.559			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0020	礫	砂岩	○	○	○	11.58	-18972.085	-26437.964	26.683			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0021	礫	砂岩	×	○	×	33.60	-18972.02	-26438.041	26.712			黒付
ﾌﾞﾛｯｸ2	0022	礫	ﾁｬｰﾄ	○	○	○	2.74	-18972.469	-26438.288	26.563			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0023	礫	砂岩	○	○	○	29.85	-18972.279	-26438.373	26.574			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0024	礫	砂岩	○	○	○	2.36	-18972.778	-26438.432	26.55			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0025	礫	礫岩	○	○	○	0.99	-18972.546	-26438.778	26.591	ﾚ1		
ﾌﾞﾛｯｸ2	0026	礫	砂岩	○	○	○	26.70	-18972.361	-26438.768	26.582			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0027	礫	砂岩	○	○	○	1.44	-18971.928	-26438.479	26.607	ﾚ6		
ﾌﾞﾛｯｸ2	0028	礫	砂岩	×	○	×	2.17	-18971.633	-26438.462	26.564			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0029	礫	砂岩	○	○	○	1.05	-18971.739	-26439.125	26.569			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0030	剥片	ﾁｬｰﾄ単	42.35	28.58	6.09	7.34	-18972.661	-26440.216	26.607			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0031	礫	砂岩	○	○	○	9.83	-18972.193	-26438.383	26.564			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0032	礫	砂岩	○	○	○	3.76	-18972.438	-26438.234	26.523			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0033	礫	砂岩	○	○	○	1.94	-18972.085	-26438.24	26.503			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0034	礫	砂岩	○	○	○	2.14	-18972.355	-26438.084	26.457	ﾚ6		

第１表　石器・礫属性表①

遺構名	遺物No.	種別	石材(母岩)	石器：長(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重量(g)	X座標	Y座標	Z座標	接合No.	図版No.	備考
				礫：赤化	破砕	破砕面赤化							
ﾌﾞﾛｯｸ2	0035	礫	ﾁｬｰﾄ	×	○	×	0.16	-18971.448	-26438.051	26.692			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0036	礫	砂岩	○	○	○	0.29	-18971.817	-26438.097	26.708			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0037	礫	ﾁｬｰﾄ	○	○	○	0.41	-18972.428	-26437.421	26.653			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0038	礫	砂岩	○	○	○	0.81	-18972.333	-26437.089	26.551			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0039	礫	砂岩	○	○	○	0.26	-18973.266	-26439.899	26.647			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0040	剥片	砂岩単	49.32	57.85	14.18	40.15	-18973.108	-26436.715	26.644			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0041	礫	砂岩	○	○	○	2.70	-18972.594	-26436.938	26.582			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0042	礫	砂岩	○	○	○	0.40	-18972.326	-26436.819	26.461			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0043	礫	砂岩	○	○	○	4.20	-18972.493	-26437.158	26.653			黒付
ﾌﾞﾛｯｸ2	0044	礫	礫岩	○	○	○	140.72	-18972.268	-26437.43	26.651	ﾚ1		
ﾌﾞﾛｯｸ2	0045	礫	砂岩	○	○	○	2.84	-18972.105	-26437.366	26.671			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0046	礫	砂岩	○	○	○	32.54	-18972.229	-26437.708	26.665			黒付
ﾌﾞﾛｯｸ2	0047	礫	砂岩	○	○	○	12.51	-18972.148	-26437.614	26.664			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0048	礫	礫岩	○	○	○	81.83	-18972.069	-26437.874	26.65	ﾚ1		
ﾌﾞﾛｯｸ2	0049	礫	珪質頁岩	○	○	○	31.74	-18971.999	-26437.926	26.696			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0050	礫	砂岩	○	○	○	26.23	-18971.93	-26437.633	26.655			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0051	礫	砂岩	○	○	○	5.85	-18971.807	-26437.748	26.685			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0052	礫	砂岩	○	○	○	5.53	-18971.667	-26437.84	26.62	ﾚ4		
ﾌﾞﾛｯｸ2	0053	礫	砂岩	○	○	○	9.62	-18971.6	-26437.831	26.686			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0054	礫	砂岩	○	○	○	25.69	-18971.715	-26438.101	26.656			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0055	礫	砂岩	×	○	×	25.63	-18971.666	-26438.181	26.637			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0056	礫	砂岩	○	○	○	7.81	-18971.491	-26438.122	26.622			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0057	礫	砂岩	○	○	○	56.91	-18971.429	-26438.22	26.671	ﾚ3		黒付
ﾌﾞﾛｯｸ2	0058	礫	砂岩	○	○	○	32.08	-18971.484	-26438.308	26.638			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0059	礫	砂岩	○	○	○	5.64	-18972.263	-26437.713	26.631			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0060	礫	ﾁｬｰﾄ	○	○	○	0.47	-18975.148	-26436.442	26.673			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0061	礫	砂岩	○	○	○	0.47	-18976.303	-26436.669	26.975			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0062	礫	ﾁｬｰﾄ	×	○	×	0.27	-18975.974	-26437.816	26.572			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0063	礫	砂岩	×	○	×	5.70	-18976.004	-26437.948	26.719			
ﾌﾞﾛｯｸ2	0064	礫	ﾁｬｰﾄ	○	○	○	33.84	-18975.224	-26437.835	26.636	ﾚ5		
ﾌﾞﾛｯｸ2	0065	礫	砂岩	○	○	○	28.72	-18971.808	-26437.464	26.225			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0001	剥片	ｶﾞﾗｽ質安山岩単	30.31	38.31	8.82	5.02	-18967.024	-26435.021	26.58			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0002	ﾅｲﾌ形石器	頁岩1	23.34	29.34	10.41	5.54	-18967.049	-26435.23	26.517	ｾ1	第9図1	
ﾌﾞﾛｯｸ3	0003	剥片	凝灰岩単	12.95	19.11	5.12	0.85	-18966.939	-26435.304	26.684			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0004	剥片	頁岩単	×	○	×	0.34	-18966.769	-26435.364	26.526			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0005	礫	砂岩	○	×	×	177.74	-18965.802	-26436.769	26.297			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0006	剥片	頁岩単	94.09	90.20	14.69	121.09	-18967.774	-26436.57	26.358		第9図4	
ﾌﾞﾛｯｸ3	0007	礫	ﾁｬｰﾄ	×	○	×	0.02	-18967.96	-26434.869	26.298			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0008	剥片	凝灰岩1	9.75	12.68	1.56	0.18	-18967.494	-26434.455	26.295			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0009	剥片	頁岩1	4.78	10.14	2.15	0.07	-18967.123	-26434.401	26.257			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0010	剥片	ｶﾞﾗｽ質安山岩1	9.57	23.91	8.15	1.11	-18967.298	-26434.6	26.275			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0012	石核	頁岩1	54.42	59.93	29.57	84.46	-18967.51	-26435.284	26.299	ｾ1	第9図3	
ﾌﾞﾛｯｸ3	0013	剥片	凝灰岩1	9.10	22.50	11.30	2.13	-18967.262	-26435.137	26.337			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0014	剥片	頁岩1	7.24	4.40	1.40	0.03	-18967.172	-26435.147	26.275			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0015	剥片	頁岩1	14.51	11.31	3.53	0.43	-18966.883	-26434.81	26.321			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0016	剥片	頁岩1	17.24	25.84	5.94	1.65	-18966.697	-26434.838	26.326			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0017	剥片	凝灰岩1	12.53	9.12	3.19	0.33	-18966.524	-26434.923	26.352			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0018	剥片	頁岩1	12.55	17.27	5.67	1.09	-18966.469	-26434.728	26.235	ｾ1	第9図2	
ﾌﾞﾛｯｸ3	0019	剥片	頁岩1	39.23	26.34	9.96	8.72	-18966.929	-26435.092	26.366			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0020	剥片	ｶﾞﾗｽ質安山岩1	21.38	14.04	6.71	1.23	-18966.92	-26435.206	26.197			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0021	剥片	頁岩1	7.53	2.91	1.18	0.03	-18967.127	-26435.559	26.222			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0022	剥片	ｶﾞﾗｽ質安山岩1	6.71	8.62	2.27	0.10	-18966.883	-26435.808	26.221			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0023	剥片	頁岩1	37.53	17.47	6.03	3.99	-18966.42	-26435.569	26.428			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0024	剥片	頁岩1	12.92	9.12	2.48	0.20	-18966.515	-26435.297	26.341			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0025	剥片	頁岩1	2.82	4.62	1.30	0.02	-18966.437	-26435.361	26.266			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0026	剥片	ﾁｬｰﾄ単	12.91	6.87	3.44	0.19	-18966.41	-26435.116	26.308			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0027	剥片	頁岩1	9.84	5.48	1.43	0.06	-18966.206	-26435.321	26.233			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0028	剥片	頁岩1	11.59	13.90	3.38	0.38	-18966.077	-26435.254	26.327			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0029	剥片	ｶﾞﾗｽ質安山岩1	16.85	17.45	5.79	1.52	-18967.185	-26436.538	26.362			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0030	剥片	ｶﾞﾗｽ質安山岩1	4.31	3.93	0.86	0.01以下	-18967.371	-26434.903	26.22			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0031-1	剥片	ﾁｬｰﾄ1	8.86	14.63	3.03	0.31	-18966.148	-26434.867	26.142			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0031-2	剥片	ﾁｬｰﾄ1	6.29	6.94	1.47	0.04	-18966.148	-26434.867	26.142			
ﾌﾞﾛｯｸ3	0032	剥片	頁岩1	10.15	14.74	4.01	0.32	-18966.537	-26434.357	26.161			

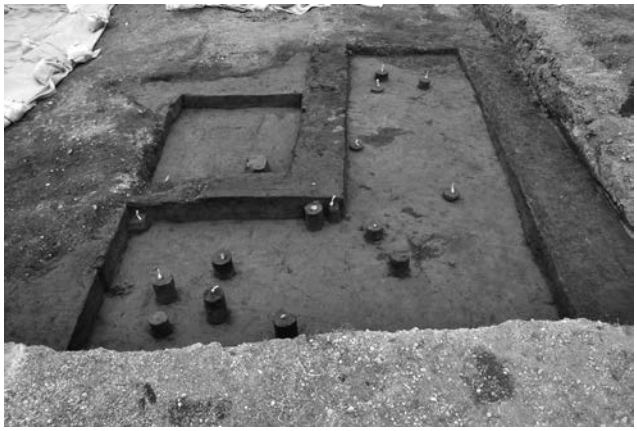
第２表　石器・礫属性表②

調査前全景

重機による表土剥ぎ

調査風景

完掘状況（南から）



ブロック１　遺物出土状況（北東から）

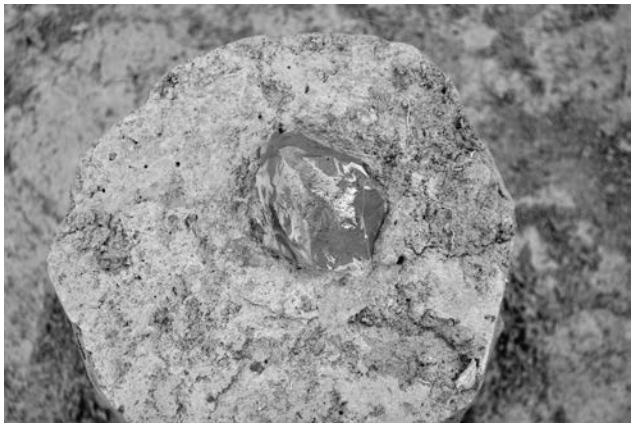
ブロック１　焼石片

ブロック２　遺物出土状況（南西から）

ブロック２　焼石片

写真図版２

ブロック３　遺物出土状況（南西から）

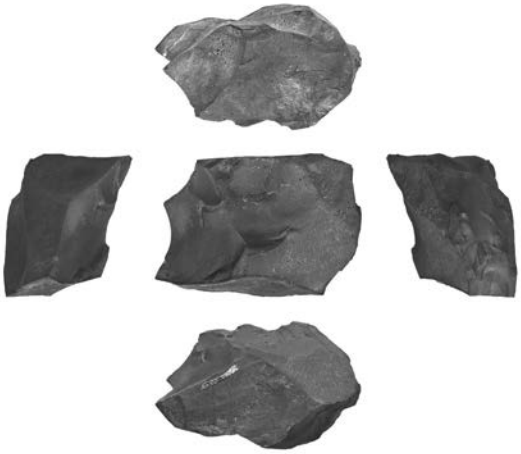


ブロック３　石核

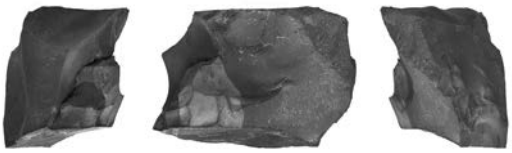
重機による埋め戻し

整理作業風景

ﾌﾞﾛｯｸ１　No.18　　ﾌﾞﾛｯｸ３　No.2　　ﾌﾞﾛｯｸ３　No.18　　ﾌﾞﾛｯｸ３　No.2 ＋ No.18



ﾌﾞﾛｯｸ３　No.12



ﾌﾞﾛｯｸ３　No.2 ＋ No.12 ＋ No.18

ﾌﾞﾛｯｸ３　No.6

ブロック１及びブロック３　出土石器（2/3・1/2）

報　告　書　抄　録

ふりがな	しんかいだいにいせきだいにちてんはっくつちょうさほうこくしょ		
書　名	新開第二遺跡第２地点発掘調査報告書	巻　次	
副書名			
巻　名			
シリーズ名	三芳町埋蔵文化財報告		
シリーズ番号	43		
編著者名	越前谷　理		
編集機関	三芳町教育委員会		
所在地	〒 354-8555　埼玉県入間郡三芳町大字藤久保 1100 番地 1		
発行年月日	2019 年(平成 31 年)3 月 15 日		

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北　緯 東　経	調査期間	調査面積（㎡）	調査原因
		市町村	遺跡番号				
しんかいだいにいせきだいにちてん 新開第二遺跡第２地点	ちくまざわ 竹間沢 337-1	113247	32-017	35°　49′　43″ 139°　32′　26″	20181029 20181211	195	食品工場建設及び駐車場造成

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
新開第二遺跡第２地点	キャンプ跡	旧石器時代	第Ⅲ層上部ﾌﾞﾛｯｸ２・第Ⅳ層下部～第Ⅴ層ﾌﾞﾛｯｸ１	ナイフ形石器・石核・焼石片等	

三芳町埋蔵文化財報告 43

新開第二遺跡第２地点発掘調査報告書

発 行 日　平成 31 年 3 月 15 日

編集機関　三芳町教育委員会

入間郡三芳町大字藤久保 1100-1

Tel.049-258-0019

発　　行　三芳町教育委員会

印　　刷　梅田印刷株式会社